

6 - 9 九州・沖縄地方の上下変動

Vertical Movements in the Kyushu and Okinawa Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

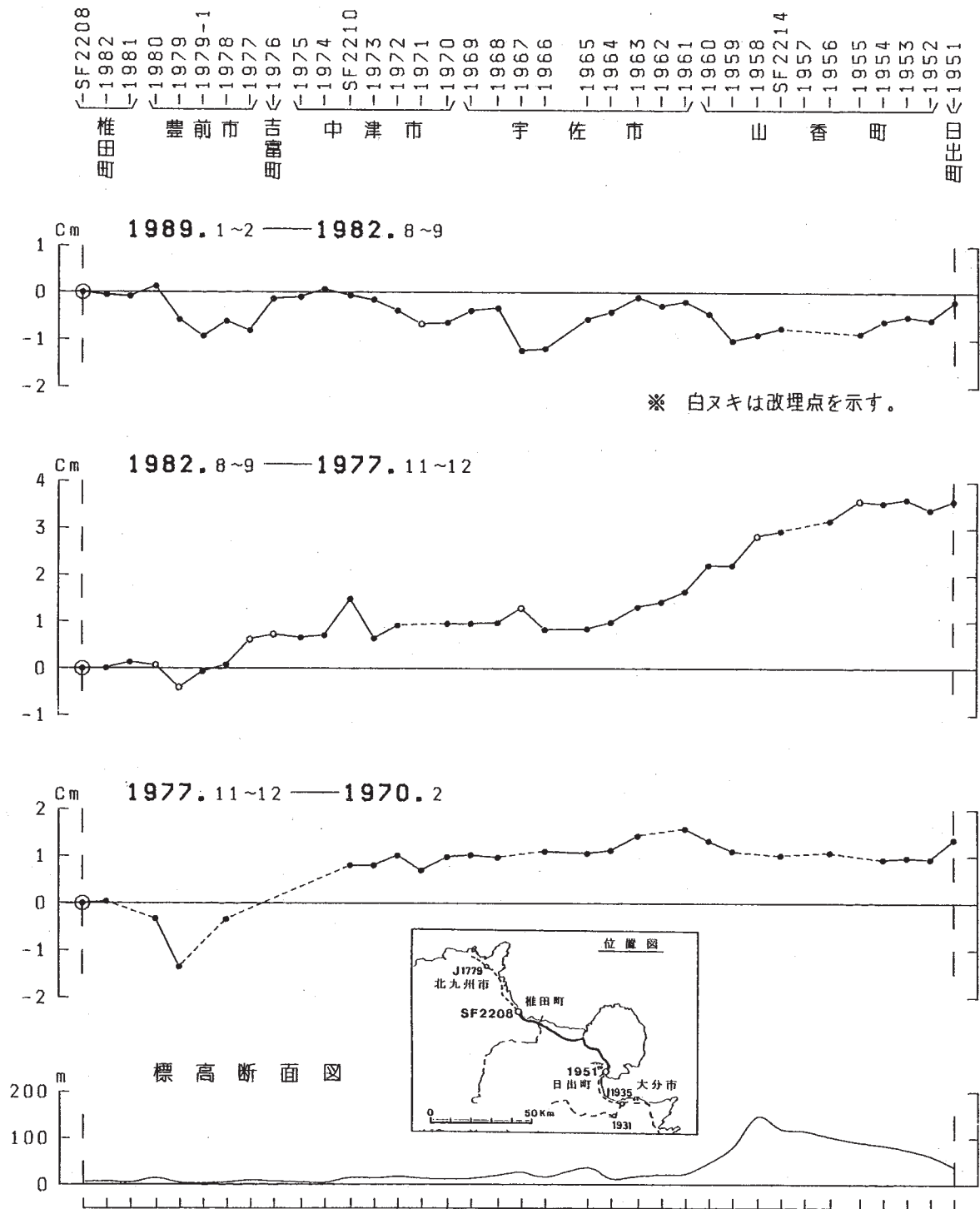
第1図は、椎田から日出に至る路線の上下変動である。最近7年間は大きな変動はない。

第2図は、島原半島東岸に沿った路線の上下変動である。全期間を通じて島原市付近に沈降が見られる。別府-島原地溝帯の拡大に伴う沈降かもしれない。

第3図は、名護精密変歪測量結果である。大きな変動はない。

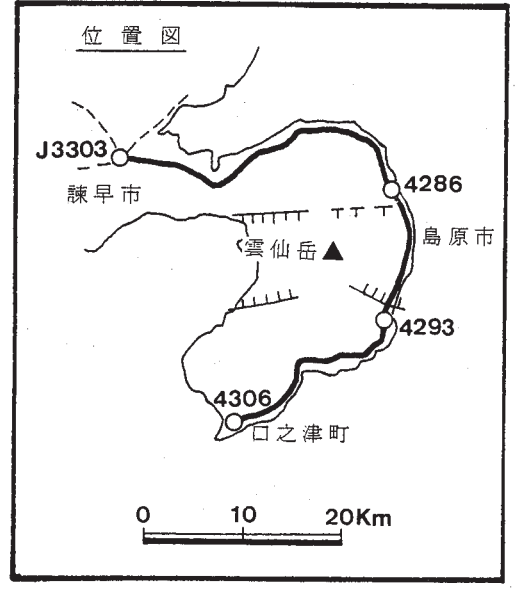
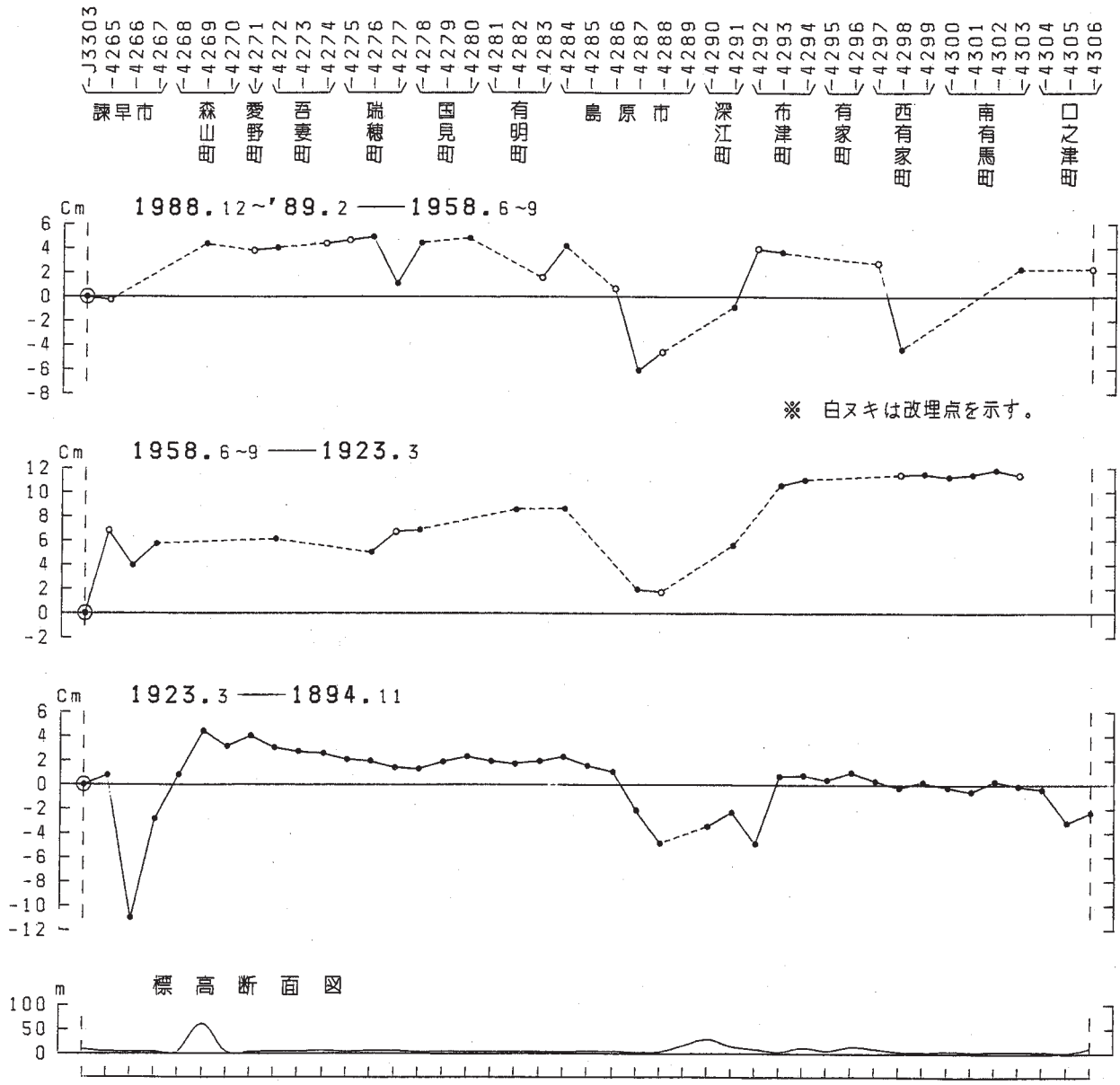
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：九州中部地方の地殻変動，連絡会報，**27** (1982)，302 - 310.
- 2) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**28** (1982)，309 - 320.
- 3) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**29** (1982)，347 - 351.
- 4) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**32** (1984)，355 - 358.
- 5) 国土地理院：中国・九州・沖縄地方の地殻変動，連絡会報，**39** (1988)，359 - 367.
- 6) 国土地理院：九州・沖縄地方の地殻変動，連絡会報，**41** (1989)，458 - 466.



第1図 椎田～日出間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Shiida to Hinode.

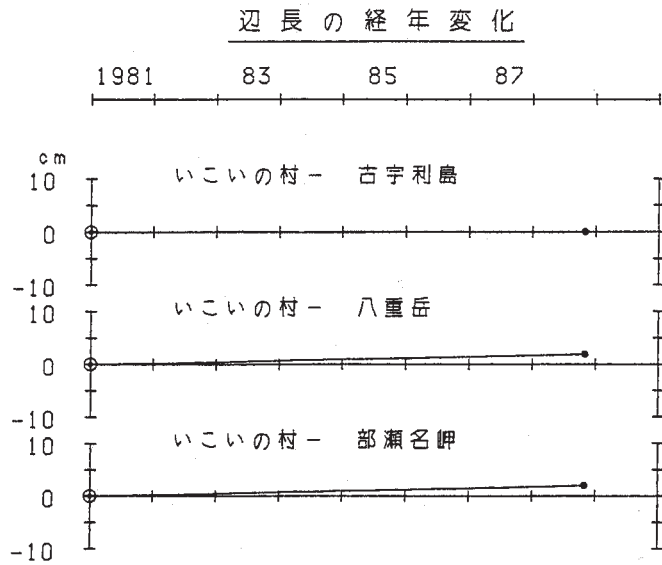


第2図 諫早～口之津間の上下変動

Fig. 2 Level changes along the route from Isahaya to Kuchinotsu.

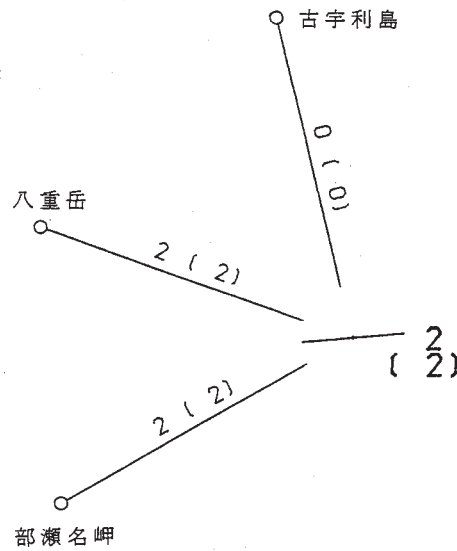
測定年 区 間	1	2	2-1
	1980~81	88.10	
いこいの村—古宇利島	12504.81 ^m	.81	0 ^{cm}
いこいの村—八重岳	12552.87	.89	2
いこいの村—部瀬名岬	12676.67	.69	2

※ 1980~81 は精密測地網二次基準点測量網平均結果



水平歪・辺長変化

1988.10 — 1980~81

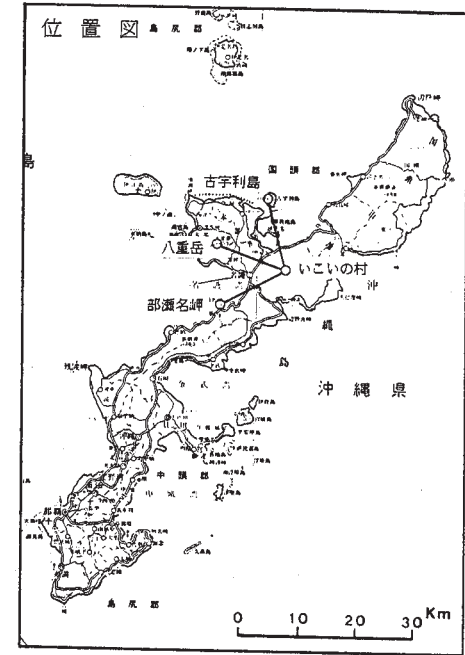


単位 cm
() $\Delta s/S$ 単位 10^{-6}

1×10^{-6} 伸び } 主軸
 1×10^{-6} 縮み }

数値 最大せん断歪 10^{-6}

() 面積変化率 10^{-6}



第3図 名護精密変歪測量結果

Fig. 3 Results of precise distance measurements in the Nago radial baselines.